

保護者等向け 児童発達支援評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14			しっかりはしゃいで活動しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14			子どもに見合った先生の人数を確保されていると思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	4		・教室の案内をされたが思えていません。 ・子どもトイレが素晴らしい。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14			親の考えや意見と、子どもの様子を見て、作成していただいています。
	⑤	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14			設定されていると思いますが、地域支援の面においては分かりかねます。
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14			行われています。
	⑦	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14			手先や全身を動かすこと、ゲーム性を取り入れた学習を行えていると思います。
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		10	4	・公園に行った話は聞きますが、円との交流があるかは分かりません。 ・わが子は幼稚園と並行利用、コロナ禍ですもんね。
	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14			説明していただきました。
保護者等への説明等	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	2		しっかり説教いただきました。
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	7	3	受けたことないです。
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1		週一で利用しているの間が空いため、状況や課題が刻々と変わるので、対応していただいていると思います。
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	4		活動後に細かく様子を伝えていただけます。
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	6	コロナ終息時には是非
	⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	2		・相談には適宜対応していただいています。
	⑯	子どもと保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	2		配慮いただいていると思います。
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14			活動の様子をたくさんアップしていただいているので、楽しそうな表情が見れます。
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14			注意されています。
	非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	5	1
⑳		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	8		実施されていると思いますが、保護者が実情を失念しています。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	1	・とても楽しみにしています。 ・ピースの車が来ると、「ピース来た」と笑顔で行ってくれる
	㉒	事業所の支援に満足しているか	12	1	1	・それぞれの子供に合ったっ仕方や学び方を提案して下さっていると思います。 ・細かいサポート、配慮に感謝しかない。
i	児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。					
ii	事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。					
iii	保護者が子供の行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。					